

一般用検査薬

この説明書をよく読んでからお使いください。また、必要なときに読めるよう大切に保存してください。

一般用黄体形成ホルモンキット

チェックワン® LH・II 排卵日予測検査薬

(排卵日予測検査薬)

第1類医薬品

Check One LH・II

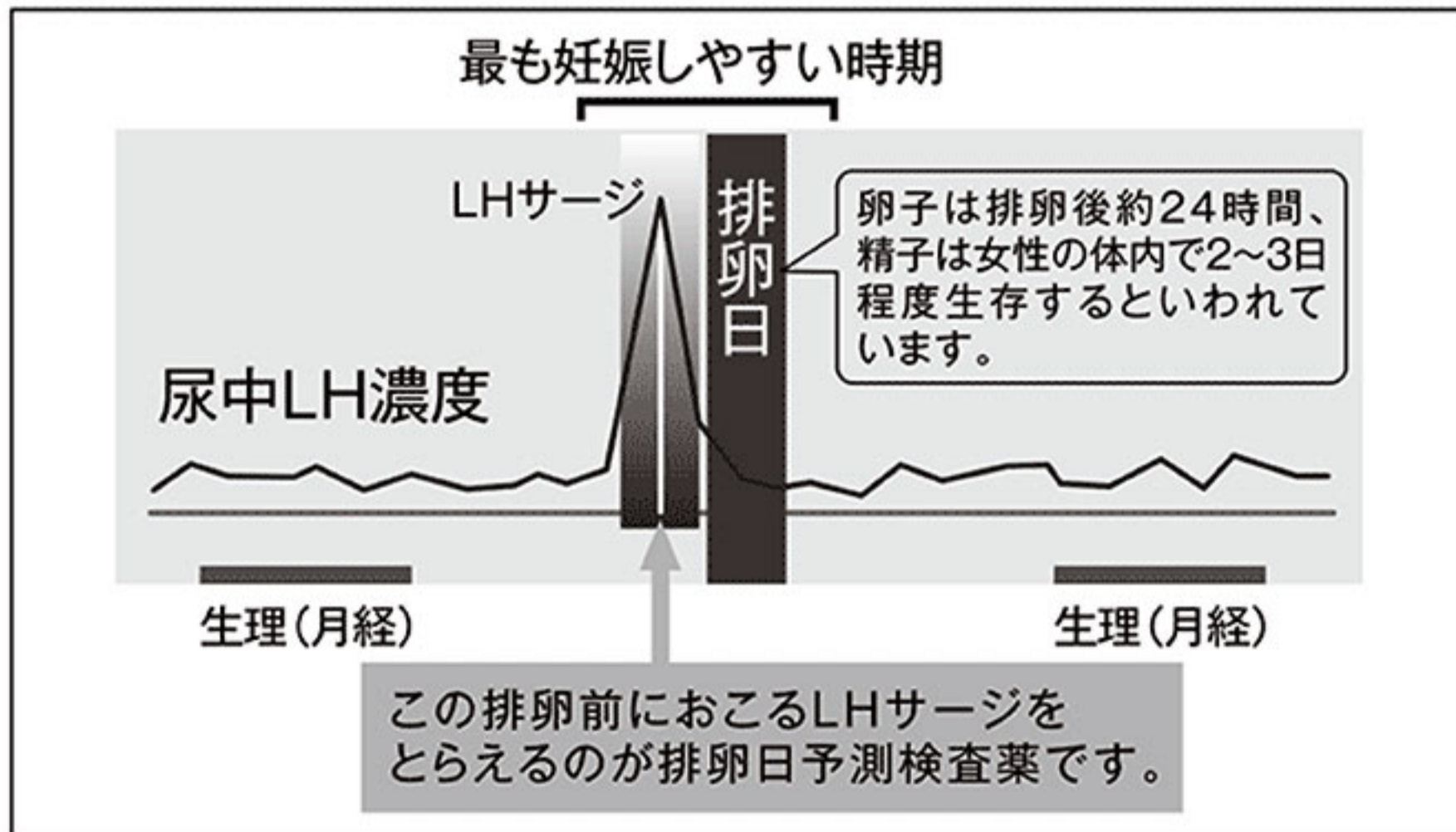
排卵日を事前に把握することの重要性

妊娠は卵子と精子が互いに生存している時期に出会うことから始まります。女性の体内での精子の生存期間が約2~3日であるのに対し、卵子は排卵後、約24時間しか生存しないといわれています。従って、排卵の前又は直後の性交が最も妊娠しやすく、妊娠を望む上で排卵日を事前に把握することはとても大切なことです。

排卵日がわかるしくみ(測定の原理)

黄体形成ホルモン(LH)は、女性ホルモンの一種で、普段から少量分泌されています。生理(月経)周期の中頃に短期間ですが、このLHの分泌量が急激に増加します。このLHの大量分泌をLHサージといい、LHサージから約40時間以内に排卵がおけるといわれています。「チェックワンLH・II排卵日予測検査薬」は尿中に分泌されるLHを検出し、LHサージをとらえるための検査薬です。排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有用です。

この検査薬は、LHサージを検出するもので、排卵を確認するわけではありません。6周期検査をし、適切な時期に性交しても妊娠しない場合は、医師の診療を受けてください。



⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

本品は、避妊目的に設計されておらず、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、避妊の目的で用いてはいけません。(本品は、排卵日予測の補助を目的とした検査薬であり、避妊目的には使用できません。性能上確実に排卵日を特定できるわけではありません。避妊法(経口避妊薬の服用等)を行っている人は検査を行わないでください。)

👤 相談すること

- 次の人は、使用前に医師に相談してください。
 - ・不妊治療を受けている人
 - ・通常の性交を継続的に行っても1年以上妊娠しない人
 - ・生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人
- 検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師又は薬剤師に相談してください。
- この説明書の記載内容で分かりにくいところがある場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

検査時期に関する注意

- 1日1回検査をする場合：1日1回毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。
- 1日2回検査をする場合：1日2回(例えば朝夕)検査をしてください。毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。

廃棄に関する注意

- 廃棄の際は尿の付着したもの、あるいはプラスチックごみとして各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

【使用目的】

尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出(排卵日予測の補助)

【使用方法】

<検査のタイミング>

下の表を参考に、ご自分の生理(月経)周期から換算して、次の生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始してください。

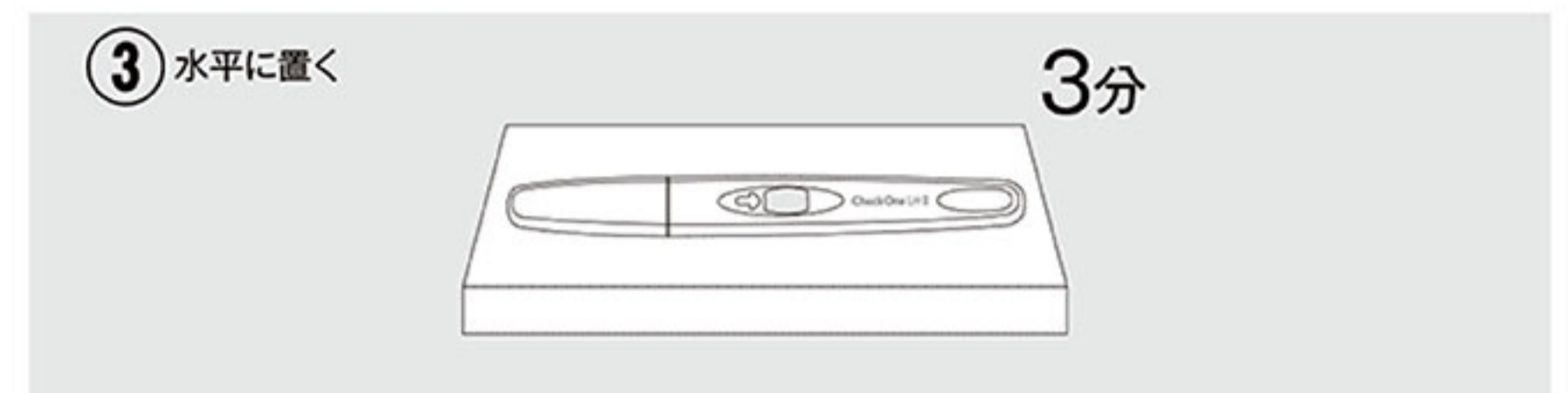
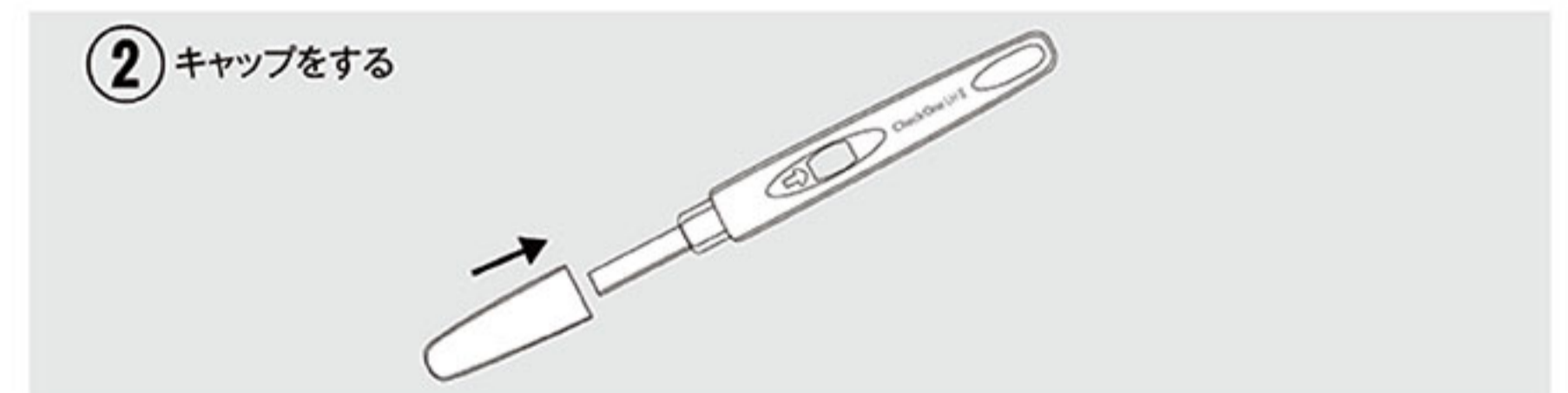
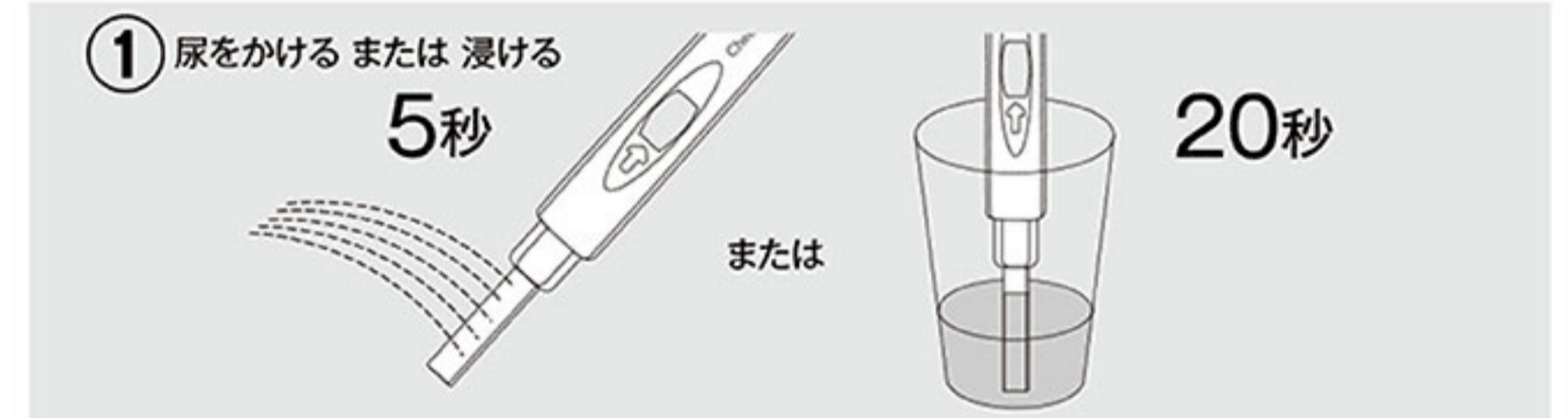
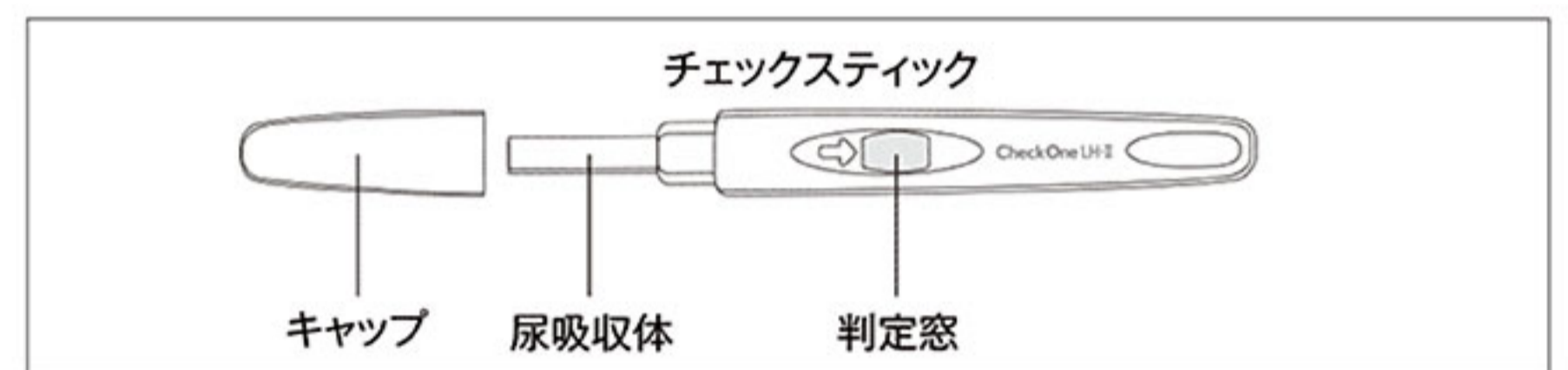
生理(月経)周期	21日以下	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	32日	33日	34日	35日	36日	37日	38日	39日	40日
検査を始める日	生理(月経)開始から																			
	5日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	22日目	23日目

- 生理(月経)周期が不規則な方は最近の2~3周期の中で一番短かった周期を目安にして、次回生理(月経)開始予定日を決めてください。

<検査のしかた>

検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。(過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性か陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。)

- 検査は以下の手順に従ってください。
- アルミ袋は検査直前に開封してください。



- ① チェックスティックのキャップをはずして尿吸収体を下に向け、尿吸収体全体に直接尿を5秒間かけるか、尿を紙コップ等にとって検査をする場合は、乾いた清潔なものを用い、尿吸収体全体が浸るように20秒間、尿に浸けてください。(採尿後はできるだけ速やかに検査をしてください。)
 - ※このとき、判定窓を尿で濡らさないように気をつけてください。
 - ※採取した尿で検査をする場合は、尿吸収体のみを浸けてください。
 - ※尿を8秒より長くかけたり、30秒より長く浸けないでください。
- ② 濡らし終わったら尿吸収体を下に向けたままキャップをしてください。
- ③ 水平なところに判定窓が見えるように置き、3分間静置してください。

<判定のしかた>

- まずチェックスティックの判定窓にコントロールライン(矢印から遠いライン)があらわれていることを確認してください。
- 判定は判定窓のコントロールラインとテストライン(矢印に近いライン)の青色ラインの有無及び色の濃さを比較して判定してください。
- 10分を過ぎてからの判定は避けてください。
- 初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵がおこるといえるのです。

スコア	判定窓 テストライン コントロールライン	判定
1		陰性(-) テストラインが認められない(スコア1)か、テストラインの青色の濃さがコントロールラインより薄い場合(スコア2) LHサージが検出されませんでした。翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。
2		
3		陽性(+) テストラインの青色の濃さがコントロールラインの青色と同じ(スコア3)か、それより濃い場合(スコア4) LHサージが検出されました。間もなく排卵がおこると予測されます。初めて陽性になった日かその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)です。
4		
**		再検査 判定窓にコントロールラインが認められない場合は、尿吸収体にしみこませた尿が少なかったこと等が考えられますので、別のチェックスティックを用いて検査をやり直してください。

- 実際にあらわれるラインの色・形は例示と異なる場合があります。

<使用に際して、次のことに注意してください。>

【採尿に関する注意】

- にごりのひどい尿や異物がまじった尿は、使用しないでください。
- 検査前4時間程度はできるだけ排尿しないでください。
- 検査前に水分を過剰にとらないでください。
- 検査前に多量の発汗を伴う運動は避けてください。

【検査手順に関する注意】

- 採尿後は、速やかに検査を行ってください。尿を長く放置すると検査結果が変わってることがあります。
- 操作は、定められた手順に従って正しく行ってください。

【判定に関する注意】

①検査初日から陽性になった場合

既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、陰性になることが確認できるまで検査を続けてください。(確認できない場合は、③を見てください。)

②検査期間中、陰性が続く場合

早期に医師又は薬剤師に相談してください。
通常、排卵期に、本品を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理(月経)周期、短期LHサージ(12時間以内)などの原因で、まれに陽性とならないことがあります。

③検査期間中、陽性が続く場合

早期に医師の診療を受けてください。
妊娠、分娩後、流産後、胎状奇胎・絨毛癌等の絨毛性疾患、人工妊娠中絶後、あるいは不妊治療のための薬剤投与、内分泌障害、閉経期などでは、排卵と無関係に、陽性が続く場合があります。

④検査をし、その都度陽性を確認した上で適切な時期に性交しても6周期以上妊娠しない場合

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。できればパートナーと一緒に医師に相談してください。ただし30歳代後半以上の方、結婚後妊娠できない期間が長い方、早期の妊娠をご希望の方は早めに受診することをお勧めします。

【検査結果】

検査結果を記入してみましょう。

	検査日	検査時間	スコア	判定結果	メモ
記入例	10/27	9:30AM	1	陽性・陰性	腹痛
1日目				陽性・陰性	
2日目				陽性・陰性	
3日目				陽性・陰性	
4日目				陽性・陰性	
5日目				陽性・陰性	
6日目				陽性・陰性	
7日目				陽性・陰性	
8日目				陽性・陰性	
9日目				陽性・陰性	
10日目				陽性・陰性	

排卵から約2週間後に、生理(月経)は始まります。LHサージをとらえるために、次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始すると、生理(月経)予定にずれが生じない典型的な例では、検査開始から約3日目に初めて陽性があらわれます。(検査結果には個人差があります。また、あくまで典型的な例であり、異常がなくてもずれる場合があります。)

【キットの内容及び成分・分量・検出感度】

内容

5回用 チェックスティック 5本 10回用 チェックスティック 10本

成分・分量

(チェックスティック1本中)
 マウスモノクローナル抗β-LH抗体結合青色ラテックス粒子 14.6 μg
 ウサギポリクローナルIgG結合青色ラテックス粒子 5.57 μg
 マウスモノクローナル抗α-LH抗体 1.2 μg
 ヤギポリクローナル抗ウサギIgG抗体 0.48 μg

検出感度

40mIU/mL

【保管及び取扱い上の注意】

- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください(1~30℃)。
- 冷蔵庫内に保管しないでください。冷蔵庫への出し入れにより結露を生じ、検査結果に影響を与えるおそれがあります。
- 品質を保持するために、他の容器に入れ替えないでください。
- アルミ袋は使用直前に開封してください。
- 使用期限の過ぎたチェックスティックは使用しないでください。
- 判定窓を尿やその他の液体で濡らさないでください。
- 本キットを分解して使用しないでください。

【保管方法・有効期間】

保管方法 室温保存
 有効期間 24カ月間(使用期限は外箱に記載)

【包装単位】

1箱 5回検査用 1箱 10回検査用

【お問い合わせ先】

株式会社アラクス
 チェックワンLH相談室 TEL:052(962)2203
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目2-26
 受付時間: 9:00~16:30(土・日・祝日を除く)

【製造販売元】

ARAX 株式会社アラクス
 〒460-0002
 名古屋市中区丸の内三丁目2-26

排卵日予測検査薬 一般用黄体形成ホルモンキット

チェックワン LH・II

排卵日予測検査薬

第1類医薬品

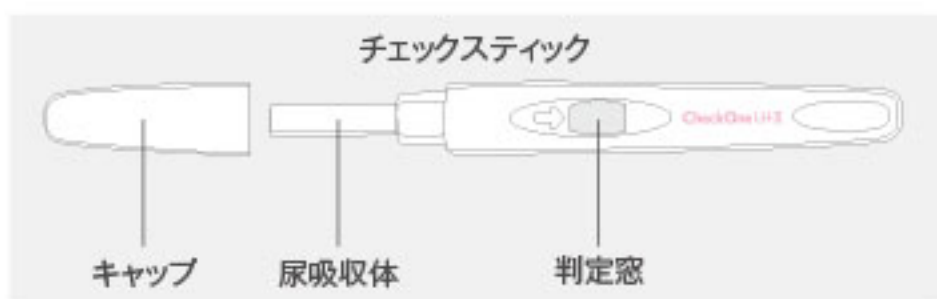
【使用者向け情報提供資料について】

ご使用前に添付文書をよく読んでお使いください。

【この検査薬の効果は?】

この検査薬は、尿中の黄体形成ホルモン(LH)を検出し、排卵の引き金となるLHの大量分泌(LHサージ)をとらえる検査薬です。LHサージがおこってから、約40時間以内に排卵がおこることが知られています。排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有用です。

【この検査薬の形は】



【この検査薬に含まれているのは】

(チェックスティック1本中)

マウスモノクローナル抗β-LH抗体結合青色ラテックス粒子	14.6 μg
ウサギポリクローナルIgG結合青色ラテックス粒子	5.57 μg
マウスモノクローナル抗α-LH抗体	1.2 μg
ヤギポリクローナル抗ウサギIgG抗体	0.48 μg

【この検査薬を使う前に、確認すべきことは】

⊗ してはいけないこと

本品は、避妊目的に設計されており、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、避妊の目的で用いてはいけません。(本品は、排卵日予測の補助を目的とした検査薬であり、避妊目的には使用できません。性能上確実に排卵日を特定できるわけではありません。避妊法(経口避妊薬の服用等)を行っている人は検査を行わないでください。)

相談すること

- 次の人は、使用前に医師に相談してください。
不妊治療を受けている人
通常の性交を継続的に行っても1年以上妊娠しない人
生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人
- 検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師又は薬剤師に相談してください。
- この説明書の記載内容で分かりにくいところがある場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

【この検査薬の使い方は】

① 検査の開始日を決めます。

下の表を参考に、ご自分の生理(月経)周期から換算して、次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始してください。

生理(月経)周期	21日以下	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	32日	33日	34日	35日	36日	37日	38日	39日	40日
検査を開始する日	生理(月経)開始日から																			
	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日

- 生理(月経)周期とは、生理(月経)が始まった初日を1日目として数え、次の生理(月経)が始まる前日までの日数のことです。
- 生理(月経)周期が不規則な方は最近の2~3周期の中で一番短かった周期を目安にして、次回生理(月経)開始予定日を決めてください。
- 既に検査開始日を過ぎていた場合は、次の生理(月経)周期で検査開始日を求めて検査してください。
- 分娩後や流産後の方は、生理(月経)が始まってから検査してください。

~検査開始日の求め方の例~

生理(月経)周期の求め方

1回の生理(月経)周期のうち、わずかな時間しかあらわれないLHサージを、できるだけ見逃さないために、ご自分の平均的な生理(月経)周期をもとに検査開始日を正しく求めてください。

<例>



検査開始日の求め方

生理(月経)周期が27日で生理(月経)が2日から始まった場合、上の表より生理(月経)開始日翌日である3日から数えて、10日目にあたる12日から検査を開始します。

<例>

日	月	火	水	木	金	土
			生理(月経)開始日			
		1	2	3	4	5
				0日目		
						検査開始日
6	7	8	9	10	11	12
						0日目

<検査に使う尿>

- LHサージを検出するのに十分なホルモン量が必要なため、検査前4時間の排尿、検査前の水分の過剰摂取及び多量の発汗を伴う運動は避けてください。
- 市販されている薬は検査結果に影響しますが、産婦人科で処方される薬や注射剤の中には、検査結果に影響を与えたり、生理(月経)周期に変動を与えたりする薬剤が含まれていることもありますので、このような方は医師に相談してください。
- にごりのひどい尿や異物がまじった尿は使用しないでください。
- 尿を容器に採取する場合は乾いた清潔な容器に採取し、採尿後は速やかに検査してください。

② 朝・昼・夜いつの尿でも検査可能ですが、検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。

(過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性が陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。例.1日1回の場合:朝一番、1日2回の場合:朝夕)

- 検査は以下の手順に従ってください。
- アルミ袋は検査直前に開封してください。

① 尿をかける または 浸ける



チェックスティックのキャップをはずして尿吸収体が下に向くように持ち、尿吸収体全体に直接尿を5秒間かけるか、尿を紙コップ等にとって検査をする場合は、乾いた清潔なものを用い、尿吸収体全体が浸るように20秒間、尿に浸けてください。(採尿後はできるだけ速やかに検査をしてください。)

※このとき、判定窓を尿で濡らさないように気をつけてください。
※採取した尿で検査をする場合は、尿吸収体のみを浸してください。
※尿を8秒より長くかけたり、30秒より長く浸けないでください。



② キャップをする



濡らし終わったら尿吸収体を下に向けたままキャップをしてください。

③ 水平に置く



平らなところに判定窓が見えるように置き、3分間静置してください。

④ 判定

- まずチェックスティックの判定窓にコントロールライン(矢印から遠いライン)があらわれていることを確認してください。
- 判定は判定窓のコントロールラインとテストライン(矢印に近いライン)の青色ラインの有無及び色の濃さを比較して判定してください。
- 10分を過ぎてからの判定は避けてください。
- 初めて陽性になったとき、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵がおこるといえるのです。

- 実際にあらわれるラインの色・形は例示と異なる場合があります。
- 判定窓にコントロールラインが認められない場合は、尿吸収体にしみこませた尿が少なかったこと等が考えられますので、別のチェックスティックを用いて検査をやり直してください。
- 同じ時間帯に検査ができない場合でも、LHサージを見逃さないために1日1回は必ず検査をし、翌日から一定の時間帯に戻して検査してください。
- 陽性となった時点でこの周期での検査は終了です。未開封のチェックスティックは、使用期限内でしたら次回以降の検査に使用できます。

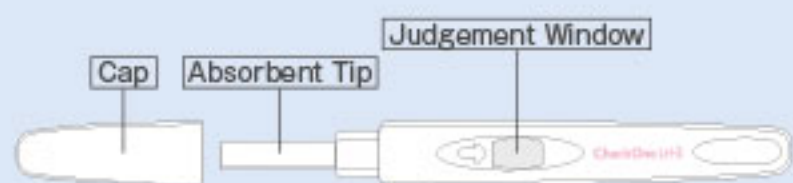
スコア	判定窓 テストライン コントロールライン	判定
1		陰性(-) テストラインが認められない(スコア1)か、テストラインの青色の濃さがコントロールラインより薄い場合(スコア2) LHサージが検出されませんでした。翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。
2		
3		陽性(+) テストラインの青色の濃さがコントロールラインの青色と同じ(スコア3)か、それより濃い場合(スコア4) LHサージが検出されました。間もなく排卵がおこると予測されます。初めて陽性になった日かその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵期)です。
4		

【Testing Period】

Start testing 17 days before you expect your next period.
You can test the CHECKONE LH・II anytime of the day, but should be at the same time each.

【Instructions for the Proper Use】

- ① Urinate thoroughly on the absorbent tip. (For about 5 seconds)
- ② Cover the tip with the cap, keeping it downward direction.
- ③ Keep the kit horizontal. (Do not hold it by your hand!) Wait for about 3 minutes!



【Judgement】

Positive : If the Test Line is similar to, or darker than the Control Line, you have detected your LH surge and have reached your most fertile time.
Negative : If there is no Test Line, or it is paler than the Control Line, you have not detected your LH surge. Test again tomorrow at the same time.

※Please note that real color or profile of the lines appeared sometimes differs.

You cannot use this kit for contraceptive purpose.

【この検査薬の使用に際し、気をつけなければならないことは】

＜採尿に関する注意＞

- にごりのひどい尿や異物がまじった尿は、使用しないでください。
- 検査前4時間程度はできるだけ排尿しないでください。
- 検査前に水分を過剰にとらないでください。
- 検査前に多量の発汗を伴う運動は避けてください。

＜検査手順に関する注意＞

- 採尿後は、速やかに検査を行ってください。尿を長く放置すると検査結果が変わることがあります。
- 操作は、定められた手順に従って正しく行ってください。

＜判定に関する注意＞

①検査初日から陽性になった場合

既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、陰性になることが確認できるまで検査を続けてください。（確認できない場合は、③を見てください。）

②検査期間中、陰性が続く場合

早期に医師又は薬剤師に相談してください。通常、排卵期に、本品を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理（月経）周期、短期LHサージ（12時間以内）などの原因で、まれに陰性となることがあります。

③検査期間中、陽性が続く場合

早期に医師の診療を受けてください。妊娠、分娩後、産後、胎状奇胎・絨毛癌等の絨毛性疾患、人工妊娠中絶後、あるいは不妊治療のための薬剤投与、内分泌障害、閉経期などでは、排卵と無関係に、陽性が続く場合があります。

④検査をし、その都度陽性を確認した上で適切な時期に性交しても6周期以上妊娠しない場合

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。できればパートナーと一緒に医師に相談してください。ただし30歳代後半以上の方、結婚後妊娠できない期間が長い方、早期の妊娠をご希望の方は早めに受診することをお勧めします。

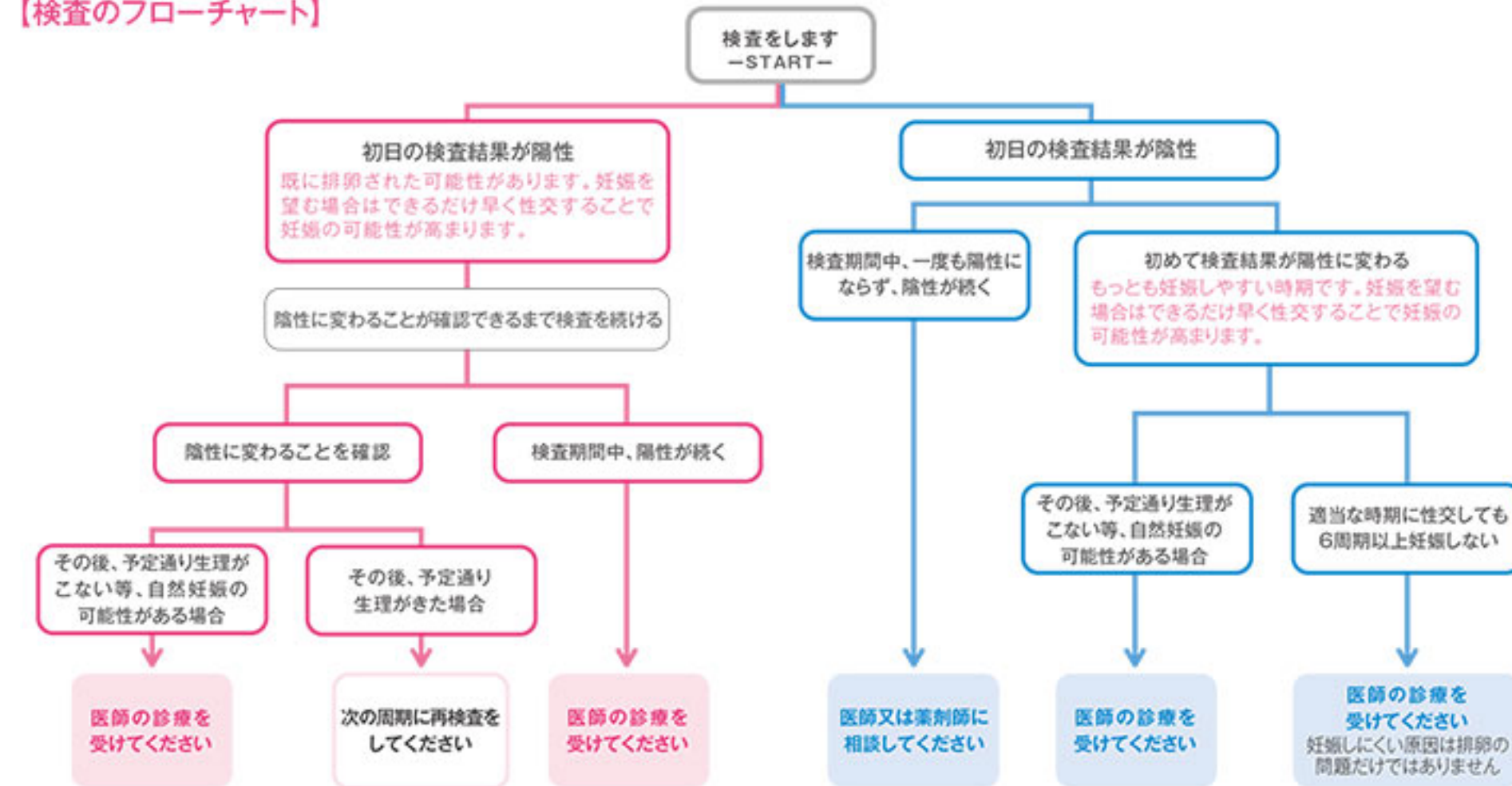
【保管及び取扱い上の注意】

- ①小児の手の届かない所に保管してください。
- ②直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。（1～30℃）
- ③冷蔵庫内に保管しないでください。冷蔵庫への出し入れにより結露を生じ、検査結果に影響を与えるおそれがあります。
- ④品質を保持するために、他の容器に入れ替えないでください。
- ⑤アルミ袋は使用直前に開封してください。
- ⑥使用期限の過ぎたものは使用しないでください。
- ⑦判定窓を尿やその他の液体で濡らさないでください。
- ⑧本キットを分解して使用しないでください。

【この検査薬についてのお問い合わせは】

株式会社 アラクス
チェックワンLH相談室 TEL:052(962)2203
〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目2-26
受付時間: 9:00～16:30(土・日・祝日を除く)

【検査のフローチャート】



【Q&A】

★してはいけないことについて

Q1. 避妊目的には使用してはいけないのでしょうか？

A1. 「チェックワンLH・II排卵日予測検査薬」は、妊娠の成立のために排卵日の予測の補助を行う検査薬であり、避妊目的に設計されていません。LHサージから通常排卵がおこるといわれる40時間を大幅に超えて排卵がおこる場合があること、精子は体内で3日以上生存する可能性があること、検査薬がLHサージをとらえる前に排卵がおこる場合があること、検査結果が陰性であっても、体内では卵子が生存している可能性もあることから、確実に避妊できるものではありません。

★検査の時期について

Q2. 生理（月経）周期がわかりません。検査開始時期の求め方は？

A2. 生理（月経）周期がわからなければ、「チェックワンLH・II排卵日予測検査薬」を使用する前に、まず1周期待ってください。生理（月経）周期がわかったら、添付文書の【使用方法】＜検査のタイミング＞から始めてください。生理（月経）周期がわからないまま検査を始めたい場合は、生理（月経）が始まって10日目から検査を始めてください。（ただし、生理（月経）周期にそって検査をしない場合、検査時期が遅かったためにLHサージを検出することができない場合があります。この場合は、次回の周期で検査開始日を求めて検査をしてください。）

Q3. 生理（月経）周期が不規則で、5、6日ずれることもあるのですが、検査はいつ始めるのがよいですか？

A3. 生理（月経）周期が不規則な場合は、最近の2～3周期の中で一番短かった周期を目安にして次回生理（月経）開始予定日を決めてください。なお、生理（月経）周期が非常に不規則な場合は、重要な疾患が潜んでいる可能性も考えられるため、なるべく早く医師に相談してください。

Q4. 私の生理（月経）周期が表にありません。検査開始時期の求め方は？

A4. 生理（月経）周期が41日以上の場合は、次回生理（月経）開始予定日の17日前から検査を始めてください。

Q5. 計算に従って決めた検査開始日を今月は過ぎていましたが、いつから始めたらよいですか？

A5. 検査開始日を既に過ぎていた場合は、次回の周期にあらためて検査開始日を決めて検査をしてください。

Q6. 検査を始めて2日が経過し、陰性が続いていましたが、3日目の検査を行うことを忘れてしまいました。4日目から再開した方がよいですか？

A6. 4日目に検査をして陰性であったとしても、3日目に陽性であった可能性があり、排卵日を正確に予測できないおそれがあるため、次回の周期にあらためて検査開始日を決めて検査をしてください。

★検査について

Q7. 検査の間隔は1日1回と2回のどちらがよいですか？

A7. 「チェックワンLH・II排卵日予測検査薬」はLHサージをとらえることで、排卵日を事前に予測するものです。LHサージは短時間に急激におこりますので、1日2回検査を行っていただくと、よりLHサージをとらえやすくなります。

Q8. いつの尿で検査をすればよいですか？

A8. 1日のうち、どの時間帯の尿でも検査はできますが、検査開始日から毎日ほぼ同じ時間帯の尿で1日1～2回、陽性があらわれるまで連続して検査をしてください。正確に検査をするために、検査前4時間の排尿、検査前の水分の過剰摂取及び多量の発汗を伴う運動は避けてください。

Q9. チェックスティックは1箱すべて使い切らないといけませんか？

A9. 初めて陽性となった日とその翌日が最も妊娠しやすい時期（排卵日）なので、検査結果が陽性となった時点で、今回の周期での検査を終了してもかまいません。（ただし、検査1日目から陽性になった場合は、Q11.をご参照ください。）未開封のチェックスティックは使用期限内でしたら次回以降の検査に使用できます。

★判定について

Q10. テストラインが尿をかけて10分を過ぎてから濃くなったのですか？

A10. 10分を過ぎてからの判定は避けてください。

Q11. 検査1日目に陽性になったのですか？

A11. 既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く（可能であれば陽性になった当日に）性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、検査1日目から陽性となった場合は、陰性が確認できるまで検査を続けてください。検査期間中、陰性が確認できず、陽性が続いた場合は、早期に医師の診療を受けてください。

Q12. 陽性（スコア3又はスコア4）が連日続くことがあるのですが？

A12. 初めて陽性（スコア3又はスコア4）となった日とその翌日が最も妊娠しやすい時期（排卵日）なので、検査結果が陽性となった時点で今回の周期での検査を終了してもかまいません。最初に陽性が確認された日から約40時間以内に排卵することが予想されます。（ただし、検査1日目から陽性になった場合は、Q11.をご参照ください。）

Q13. 検査を終了しましたが、すべて陰性でした。どうしたらよいですか？

A13. 通常、排卵期に、「チェックワンLH・II排卵日予測検査薬」を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理（月経）周期、短期LHサージ（12時間以内）などの原因で、まれに陽性にならないことがあります。検査期間中、陰性が続いた場合には、早期に医師又は薬剤師に相談してください。

Q14. 飲酒、喫煙、かぜ薬等の服用は判定に影響しますか？

A14. 影響しません。ただし、不妊治療のために投与されている薬剤の中には判定に影響するものもありますので、医師に相談してください。

Q15. 最近避妊薬（ピル）の服用をやめました。これは検査結果に影響しますか？

A15. 検査結果に影響はありませんが、ピルの服用をやめると生理（月経）周期が不安定になりますので、周期が安定するまでお待ちください。3周期ほどお待ちいただいてから生理（月経）周期を求め検査をしてください。

★その他

Q16. 6周期検査をし、性交を持ったのに妊娠しませんが？

A16. 妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。また、生理（月経）が順調だから問題がないということでもありません。妊娠しにくい原因は様々ありますが、女性側の原因の多くは治療が可能です。自分一人で悩まず医師に相談してください。この検査の結果や基礎体温を測定した結果があれば診断に役立ちます。できればパートナーと一緒に相談に行かれることをお勧めします。

Q17. 排卵日を知る手がかりである基礎体温と排卵日予測検査薬のちがいは？

A17. 排卵がある周期の場合、基礎体温は低温相と高温相の二相があり、低温相から高温相に変化した頃に排卵があったことが推定できます。多くの場合、体温が上がってから排卵があったことがわかるので、基礎体温法では前もって予測することは難しいといわれています。一方、尿中の黄体形成ホルモン（LH）濃度の上昇が始まってから約40時間以内に排卵がおこることが知られており、排卵日予測検査薬でLHの分泌量の変化を調べることで約1日前に排卵日の予測の補助を行うことができます。排卵日予測検査薬は補助的に排卵を事前に予測し、基礎体温は排卵を後で確認できますので、特に生理（月経）の不規則な方は基礎体温と排卵日予測検査薬を併せて使うことをお勧めします。

Q18. 最も妊娠しやすい時期はいつですか？

A18. 初めて陽性になったときから約40時間以内に排卵がおこる可能性が高いと予測され、その時期が最も妊娠しやすい時期といえます。

Q19. 妊娠しているかもしれません。どうしたらよいですか？

A19. 姉妹品の妊娠検査薬「チェックワン」で、生理予定日の約1週間後に検査をしていただくと妊娠しているかどうかわかります。もし判定結果が陽性であれば、医師の診療を受け今後の相談をしてください。ご自分の体のためにも、できるだけ早く病院に行ってください。

【製造販売元】

ARAX 株式会社 アラクス
〒460-0002
名古屋市中区丸の内三丁目2-26